

関係しか見えない。太平洋にまで視野を広げると、同じ歌が讃美歌として実は日本だけでなくアジア太平洋に広く普及していたことが分かり、その一つが日本の「蝶々」なのです。

日本の場合は「蝶々」という言葉から分かるように、讃美歌の旋律に日本独特の伝統を踏まえた歌詞をつけることによって唱歌という新しい歌を作り上げました。ところがハワイやミクロネシアではそういうことは起こらなくて、讃美歌としてきた歌はあくまで讃美歌として歌っていきました。こういうのを見てみますと、唱歌という歌は本当によく出来た歌だな、よく生まれてきた歌だな、と感じるわけなのです。

§ 8 アジア太平洋の讃美歌と唱歌

——「蝶々」の他にも同じような例はたくさんあるのでしょうか。

おっしゃる通り、問題は「蝶々」は特別な例なのか、それとも同じような例が他にもたくさんあつて、「蝶々」は典型的な例なのか、ということ です。結論から言いますと、「蝶々」は決して例外ではなく、同じような例がいくつでもあります。

日本で最初に作られた音楽の教科書である『小学唱歌集』を取り上げてみます。これは初編、第二編、第三編の三冊からなる教科書ですが、初編は一八八二年、明治十五年に出ました。その中にすでにいくつかの讃美歌の旋律が出てきます。有名

「蛍の光」(讚美歌曲名「Auld Lang Syne」) 出現年

年	讚美歌	年	讚美歌	年	讚美歌	年	讚美歌	唱歌	年	讚美歌	唱歌
1834	ハワイ	1850	ハワイ	1866		1882	日本	日本	1898		
1835		1851		1867		1883			1899		
1836		1852		1868		1884			1900		
1837		1853	クック	1869	クック	1885			1901		
1838		1854		1870		1886			1902		
1839		1855	クック	1871		1887			1903		
1840		1856		1872	クック	1888			1904		
1841		1857	ポナペ	1873		1889			1905	韓国	
1842		1858		1874		1890					
1843		1859		1875		1891	ポナペ				
1844	ハワイ	1860		1876		1892					
1845		1861		1877		1893					
1846		1862	ハワイ	1878		1894					
1847		1863		1879		1895					
1848		1864		1880		1896		韓国			
1849		1865		1881	クック	1897					

な例で言いますと、今は「蛍の光」という題名で知られている唱歌ですが、これは『小学唱歌集』初編では「蛍」という題でした。この旋律はスコットランド民謡でもあるのですが、当時はむしろ讚美歌として広く流布していた旋律でもあったのです。

「蛍の光」を太平洋の当時の讚美歌との関係で見てみますと、南太平洋のクック諸島では一八五三年に出版された讚美歌集にこの旋律を使った讚美歌が出てきます。一八五三年は日本では例えば嘉永六年で、ペリーが浦賀に來た年ですね。一八八四年のクック諸島の讚美歌集にも出てきます。一八八四年は明治十七年ですから、『小学唱歌集』第三編が出た年ですね。この頃には遠く離れたクック諸島と日本で同じ旋律が歌われていたのです。ハワイではクック諸島よりもっと早く一八四四年に出た讚美歌集にこの旋律が出てきます。

ミクロネシアを見てみますと、一八五七年に出版されたポナペ島の讚美歌集にこの旋律が出てきます。日本では一八八二年に出版された讚美歌集と、それと同じ年に出た『小学唱歌集』初編にこの旋律が出てきます。韓国では一八九六年に出版された唱歌集に出ています。

「むすんでひらいて」(讃美歌曲名「Greenville」) 出現年

年	讃美歌	年	讃美歌	年	讃美歌	年	讃美歌	唱歌	年	讃美歌	唱歌
1834	ハワイ	1850	ハワイ	1866		1882	日本	日本	1898	韓国	
1835		1851		1867		1883	ギルバート		1899		
1836		1852		1868		1884			1900	韓国	
1837		1853		1869		1885	ギルバート		1901		
1838		1854		1870		1886			1902		
1839		1855		1871		1887			1903		
1840		1856		1872		1888			1904		
1841		1857		1873		1889	クサイ		1905	韓国	
1842		1858		1874	日本	1890	日本		1906		
1843		1859		1875	ギルバート	1891	マーシャル 日本		1907		
1844	ハワイ	1860		1876	クサイ 日本	1892			1908	韓国	
1845		1861		1877	日本	1893			1909		
1846		1862		1878	日本	1894	クサイ		1910		韓国
1847		1863		1879		1895	マーシャル 韓国				
1848		1864		1880		1896					
1849		1865	クサイ	1881	マーシャル ギルバート 日本	1897	クサイ ギルバート 韓国				

もう一つ例をあげてみましょうか。「むすんでひらいて」という幼稚園の園児たちがお遊戯したり、手遊びをしたりする歌をご存知ですね。この歌も最初は『小学唱歌集』初編に出てくる歌です。

太平洋の讃美歌集に同じ旋律を探していきますと、けつこう出てきます。この旋律が登場する讃美歌集が出た年では、ハワイでは一八三四年、ミクロネシアの場合ですと、クサイ島が一八六五年、マーシャル諸島が一八八一年、ギルバート諸島が一八七五年です。この歌を歌った最初の園児である東京女子師範学校附属幼稚園の園児はマーシャル諸島の子どもたちとほとんど同じ時期にこの歌を歌いはじめたことが分かります。

他にもいろいろ例がありますが、要するに日本の唱歌の多くは当時の太平洋の讃美歌と密接に関係していたということです。